

【連載】

老健仕事人 送迎ドライバー

今日も笑顔で安全運転! 安心な送迎を!

齊藤由美子 [さいとう・ゆみこ]

介護老人保健施設平成園（茨城県）
通所リハビリテーション



はじめに

私の在籍する医療法人慈政会は468床の病院、外来専門クリニック、100床の老健施設2か所、通所リハビリ施設4か所、介護老人福祉施設1か所、グループホーム・ケアホーム1か所で構成されています。

当園は茨城県古河市の商業施設が多数集まる地域にあります。古河市は関東地方のほぼ中央、茨城県西端の県西地域に位置し、人口は約14万人です。JR宇都宮線を使えば東京まで1時間ほどの通勤圏ですが、若い方の流出が多く、高齢化も問題となっております。

私は2006年に平成園の通所リハビリに入職して以来、介護福祉士として勤務しています。通所リハビリの業務のなかでも欠かすことのできない送迎業務は、通所リハビリの職員が営繕課職員の協力を得て行っています。安全安心を心がけて行っている日常の送迎業務について、ご紹介させていただきます。

業務について

送迎車両はワンボックス車2台、軽自動車3台（1台は車いす対応）、普通車1台（車いす対応）の計6台です。ワンボックス車はドライバー1名・助手1名の2名対応、軽自動車と普通自動車はドライバー1名の対応となっています。車両は定期的なメンテナンス、季節に合わせたタイヤ交換などを行っています。送迎前には安全運転の唱和、呼気点検の実施（記録簿に記入）を行い、安全な送迎に取り組んでいます。また感染症対策としては常時空気を入れ替えながら送迎を行い、送迎終了後は都度アルコール消毒にて感染症対策を行っております。

安全な送迎

送迎業務では安全運転を心がけており、効率よく

かつ安全に送迎を行えるよう、送迎の組み立てを職員自身が行っています。

ご利用者によって最適な乗降の仕方が異なるため、ご利用者の身体状況をよく知る職員が送迎の順番を考慮して決める必要があります。また乗降時においては転倒のリスクがあるため、細心の注意と介助の知識が必要です。ワンボックス車への車いすの固定、リフターの操作なども適切に行わなければなりません。古河市は城下町だったということもあり、駅周辺の道路は幅が狭い場所や一方通行の場所も多数あり、運転には注意しています。

ご利用者の自宅玄関から駐車場にある送迎車まで、駐車場がない場合は路上駐車になることもあります。交通状況も考慮する必要があります。車酔いするご利用者は自宅から園に直行し、帰園の際は自宅に直行できるよう送迎を組み立てています。マンションの上層階に住居がある場合の送迎では、職員がマンションの玄関までお送りしている間、送迎車両内にご利用者だけを残すことのないようにしたり、歩行に不安のあるご利用者へは自宅の居室内にて座るまでの対応をしています。通所リハビリ利用中の様子から当日の身体状況を考慮し、無理なく送迎車に移動できるようさまざまな場面において安全を確保し、送迎を行っています。

送迎の際には安全運転の意識はもちろん、悪路や道路工事などの路面状況にも気を配りながら業務を行っています。また、ご利用者の体調に応じて送迎時間の配慮も行っています。ワンボックス車の助手をするときは、ドライバーが運転に集中できるよう配慮しています。

安心な送迎

通所リハビリの職員としてご利用者と日々向き合い接しているため、送迎中でもご利用者とコミュニケーション